

6月11日付け日経新聞に「カネカがミズノと屋内スポーツ用人工芝を共同開発した」という記事が掲載されました。

(要約及び補足)

- ・開発した人工芝と下部に敷き詰める充填剤はカネカの生分解性プラスチック原料(Green Planet)を使用したもの。両社の技術を融合することによって、使用可能な高い耐久性と一般的な人工芝に近い風合いを実現した。
- ・カネカが開発した Green Planet はバイオマス由来の生分解性ポリマーで、土壌中だけでなく海水中でも CO2 と水に分解される特徴を持つ。
- ・人工芝及び人工芝充填剤に使用されるプラスチックは長期使用での摩耗などにより、ごみとしてそれぞれ年間240トン、540～2700トンが海洋に流出している。Green Planet の使用により最終的に海に蓄積されるプラスチックごみの量を従来製品より大幅に減少できる。
- ・ミズノは今回開発した「生分解性人工芝シリーズ」を全国のスポーツ施設や商業施設などへの導入を目指すとともに屋外型海洋生分解性人工芝の開発を進めるとしている。